

# がんばれ!! ほりきり君 カトウ X グミ

ムの会場に入ると、参加している方がとても多く2,300名ほどということでした。創立80年と言う年であり、目まぐるしく変化していく福祉制度の中であって、各施設の運営を担っている理事長・施設長の方々の関心の深さが感じられました。

その中で私が参加した分科会は、「これからの障害児支援の充実・発展に向けて」というテーマでした。行政説明と講演があり、今後の障害児支援の充実の話がありました。さらに、シンポジウムでは、最前線の報告と今後について話されていました。

その話で、児童発達支援センターについての話があったのですが、要望事項があり、職員配置基準を現行の4:1を2.5:1にとあり、訓練室の定員を10人を6~8人という項目があります。できるだけこの要望が通って、一人ひとりの成長に添った十分な支援ができることを望んでいます。

また、児童発達支援センターで行うことになっている地域支援（保育所等訪問支援・障害児相談支援等）を実施するのはいいのですが、この事業が専属の職員を配置し、事業として人件費等が確保できるような報酬に改定をしていただきたいと思います。療育をしている職員が片手間のできるような内容ではなく、どんな子どもも地域で育つ環境になるように児童発達支援センターが大きな力になるようにしていきたいと思います。

80年の歴史ある日本知的障害者福祉協会の記念の年にあたり、新たな障害者福祉のさらなる進展のために、微力ながら頑張っていこうと決意した施設長等会議でした。



## Wanted

このコーナーの投稿をお待ちしております。  
内容は問いません。  
本誌の記事についてのご感想等を特に期待しています。  
(誌上匿名・ペンネームでも可)  
600字程度で編集部宛に。

〒105-0013 港区浜松町2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F  
日本知的障害者福祉協会

『さぼーと』編集部 宛

